

【職工】

職階	作業内容	技能レベル	必要な資格	必要な教育・訓練	備考
見習職 (新入職前) 入職 1年	<ul style="list-style-type: none"> 作業主任者の指揮により足場作業（枠組単管）の組出しの相番作業 仮囲組出し、段取準備等の地上作業 軽量物の玉掛作業（資格取得後） 	<p>【知識レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築の基礎知識、建築施工法の全般的な基礎知識、施工法の専門的基礎 工具、資機材の名称と用途、測量の基礎知識 安全衛生の基礎知識、施工図の見方 <p>【技能レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高所順応、安全基本動作（梁上歩行等）ができる 基本技能（ロープ結び、番線結束等）がある 足場組出しの相番作業能力がある 地上作業（仮囲、段取準備）ができる 玉掛技能（11以上）があり、軽量物の玉掛作業ができる 現場の全容を知り、KY能力を養成し安全な基本行動、安全基本作業ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ガス溶接技能講習 アーク溶接特別教育 玉掛技能特別教育（11未満） " 講習（11以上） 低電圧取扱特別教育 	<p>00ffJT</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築の基礎、建築施工法、施工法の学習 安全衛生教育 会社規則、モラル教育 技能資格取得講習 <p>00JT</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本技能（ロープ、番線結束）の習得 工具、資機材の名称及び使用方法 高所での安全基本動作 足場組出し、仮囲、玉掛等の初歩的な作業技能習得 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の技能者像は、技能だけでなく専門的知識も必要と考える。従って職長になったとき、自主管理能力が必要となるため、若年時に専門的知識の教育を行い、30才位までには2級建築施工管理技士の資格取得素地を養成する
初級専門職 入職 2～3年	<ul style="list-style-type: none"> 一般腐作業を単独又は相番者で行う 高難度腐作業（高所足場、鉄骨組立、土留工事等）は作業主任者の指揮、指導により相番作業を行う 	<p>【知識レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資機材の正しい使用法、用途の選択ができる クレーン知識（つり荷加重等）がある 作業標準の知識がある 基礎的な品質管理知識がある <p>【技能レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易なクレーン操作ができる 重量物の玉掛作業ができる 一般腐作業（足場、仮囲等）が能率的に相番者と作業ができる 高難度腐作業（高所足場、鉄骨建方、土留工事等）は指揮により相番作業ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 足場組立作業主任者 鉄骨組立 " 土留支保工 " 型枠支保工 " クレーン（51未満）特別教育 建設用リフト 	<p>00ffJT</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業主任者等の技能資格取得講習及び教育 TQCの入門教育 作業標準教育 <p>00JT</p> <ul style="list-style-type: none"> クレーン操作要領 重量物玉掛技能 高所足場作業技能 鉄骨建方 " 土留工事 " 	<ul style="list-style-type: none"> 全般的な腐作業を習得する